

令和5年度

# 施政方針 (概要) 真鶴町長 松本一彦



令和5年第1回議会定例会において、松本一彦町長が本年度の町政を推進するにあたり、施政方針と主要施策を含む予算案を表明しました。

□問い合わせ 政策推進課 ☎内線313

第5次真鶴町総合計画に定めた8年後の将来像である「幸せをつむぎ、ともに進むまち真鶴」の実現に向けて、前期基本計画に位置付けた次の4つのプロジェクトに関連する事業を着実に取り組んでいきます。

## 4つのプロジェクト

- ①にぎわいづくりプロジェクト『自立』
- ②人づくりプロジェクト『活躍』
- ③安全・安心プロジェクト『防災』
- ④地域づくりプロジェクト『持続』

### PROJECT 01

#### にぎわいづくりプロジェクト『自立』

##### ▼商工・観光

3年間開催を中止していた海のまち豊漁豊作祭が実施できるよう予算措置をし、町に活気が取り戻せるよう取り組みます。岩海水浴場運営事業では、海水浴客の方々に安全快適に利用していただけるよう、玉石の撤去と砂の搬入による整地を実施します。

観光宣伝事業では、令和3年度に作成し反響が大きかった真鶴観光ガイドブック「真鶴手帖」を重版し、一般向けに販売を開始します。

##### ▼情報・システム

情報化推進事業では、令和3年度に試行導入した職員業務用モバイルパソコン購入とその通信に要する回線インフラを準備し、使用できる範囲を各課1台としたうえで、テレワーク等職員の多様な働き方への対応や庁内会議のペーパーレス化といった環境構築を進めるとともに、令和4年度に導入されたGIS(地理情報システム)の運用開始に伴い、持ち出し端末の利用も開始し、職員の業務効率化を目指します。また、以前からの課題となっていた避難所Wi-Fiは、町民センターと町立体育館に整備します。

### PROJECT 02

#### 人づくりプロジェクト『活躍』

##### ▼教育・子育て

これからの未来に必要な外国語ICTを活用した教育を実践する事

業として、英語力向上推進事業では外国語指導助手等による幼稚園・小中学校外国語、中学校英語科の指導を実施し、また、GIGAスクール構想によりひとり1台整備されたタブレット端末の有効活用のため、指導する先生方への支援を目的とした情報教育推進事業では、小中学校へのICT支援員の派遣を行いつつ、小中学校備品購入事業では使いやすいデジタル教材を揃え、指導者が子どもたちに適切な指導ができる環境を整備します。

幼保小中が連携した教育を進める教育振興事業では、令和4年度まで開催してきた学校教育あり方検討会において方針が決定されたことを受け、令和5年度は新たに(仮称)真鶴町学校建設準備委員会を立ち上げ、幼小中一貫教育校の建設具体化に向けた議論を開始しますが、教育施設だけではなく他の公共施設との併設の可能性を検討する観点から、庁内調整も併せて進めます。また、継続して不登校訪問相談、心の教室相談など教育部門と福祉部門が連携を強化した教育相談事業の実施、小学校給食事業では、物価高騰による給食費の値上分に対する支援を実施します。

地方創生事業における教育推進事業の取組みとして、美術館及び博物館といった社会教育施設の情報を集